

地域住民の幸福度を上げる からくり屋敷

Community GATEWAY

多様な自主サークル活動支援施設

■ コンセプト

国連の「世界幸福度報告書」2019年版によると、日本の幸福度は156か国中58位。原因として、人生の選択の自由度（64位）、寛容さ（92位）が足を引っ張ったといわれており、個人が幸福度をあげるために、自由にやりたいことを叶える場所や、自分を必要とし理解してくれる仲間を探すために多くのコミュニティに属すことの必要性を感じます。

地域の現状を見てみると、町の機能の充実を図るために取り組みは行われてはいるものの、リーダーになる人は固定され、多数派や声の大きな人の意見がとおりやすく、自分でやりたいことを計画し実行する場、分かり合える仲間との出会いを促す場が足りない状況があります。

そこで、自主的にサークルを作るハードルを下げ、逆にやめることも簡単にすることで自主サークル設立を支援し、複数のサークルに気軽に参加する場を提供する施設を提案します。この施設はゲストハウスとしても利用でき、地域外からくる民泊利用者との交流も期待されます。

■ 対象物件

場所：喜入中名町下集落 建築年：明治43年 建物：平屋
家主：DIYが好き。隣の自宅で、月に一度こども食堂を開催しており、近々自宅カフェを徐々に始める予定。



■ シェアキッチンにも対応
台所部分と茶の間を、惣菜製造や飲食店としても利用できるスペースにして、販売にもチャレンジできるよう支援します。



写真提供：ピクスタ HHImages / PIXTA(ピクスタ)

■ DIY系作業スペース
増築の現在ものおきになっている部分は、DIY系、アート系のサークルが作業をできるように作りかえます。



acworksさんによる写真ACからの写真

■ 物置きスペース
各サークルの備品を十分に置けるスペースを確保します

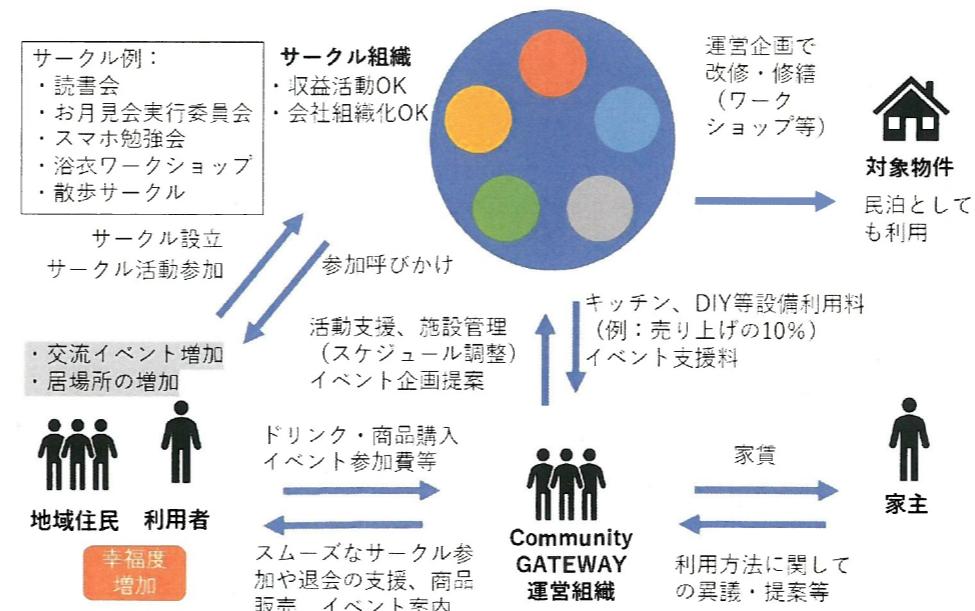


アヤバゴスさんによる写真ACからの写真

■ 間取り



■ スキーム



■ アイデアが次々生まれる フリースペース

各テーブルで、各サークルが趣味ややってみたい事業について楽しく語らう。ときには、となりで話していたサークルが話に参加し、イベントコラボの話が持ちあがることも。テーブルやイスを片付け広くつかえば、地域の人も喜ぶ体操やヨガ、コンサート、映画上映会などのイベント、マルシェにも使えます。このスペースは宿泊にも利用でき、宿泊者との交流も期待されます。



■ 多世代が交流する庭

縁側から見える庭は芝生でおおわれた誰でも利用できる憩いの空間。子供が安全に遊べる空間を作り、親はシェアスペースの中から見守ることができます。散歩中の近所の老夫婦がベンチに腰をかけ、子供たちとの自然な交流が生まれる。そんな仕掛けをつくります。

